

このリストは、図書館の職員が、中学生のみなさんに  
読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-32-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉 1-4-25	☎3782-2036
荏原図書館	中延 1-9-15	☎3784-2557
(荏原図書館は、耐震改修工事のため平成27年7月末まで休館予定)		
南大井図書館	南大井 3-7-13	☎3761-6780
源氏前図書館	中延 4-14-17	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町 1-17-7	☎3785-6677
大井図書館	大井 5-19-14	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田 6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎 2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮 5-10-27	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

# Let's Read!

中学生



「バンヤンの木 ぼくと父さんの嘘」

アーファン・マスター 作

杉田 七重 訳

静山社

品川区立図書館

## 『星空ロック』

那須田 淳 作  
あすなる書房



父の単身赴任で、母と暮らす14歳のレオ。レオの住むアパートを経営していたのは近所でケチと評判の「ケチル」というあだ名の老人だった。音楽を通じて、ケチルと友人になる。しかしケチルは亡くなり…。

ケチルが昔、ドイツで、少女とかわした約束をはたそうと、決心したレオ。

その約束とは…。

## 『沈黙の殺人者』

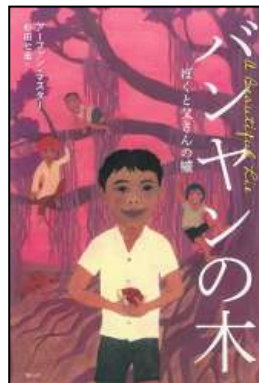
ダンディ・デイリー・マコール 作 武富 博子 訳  
評論社

16歳の少女ホープの兄、ジェレミーは、野球チームの監督を殺害した容疑で、裁判にかけられてしまいます。ジェレミーは沈黙を続けますが、ホープは大好きな兄の無実を信じて、友人達とともに真犯人をさがします。はたしてホープは真実をつきとめ、真犯人をさがしだすことができるのでしょうか？



## 『バンヤンの木 ぼくと父さんの嘘』

アーファン・マスター 作 杉田 七重 訳  
静山社



1947年、国土分離の危機に瀕するインド。そこに生きる少年ビラルは、死を目前にした父に、ある嘘をつくことを決意する。時には親友の力を借り、時には自身の命を懸けて。父さんのためならなんだってできる。父さんを守りたい。ビラルがついた嘘とは…。

## 『まるごと観察 富士山』

鎌田 浩毅 編著  
誠文堂新光社

2013年6月、富士山は「世界文化遺産」に登録されました。

この本では、富士山がどのようにしてできたのか、富士山の上空で起こる不思議な現象、富士山に住む生物のことなど、富士山の事を余すことなく紹介しています。



## 『わからん薬学事始 1』

まはら 三桃 作  
講談社



薬の製造を唯一の産業とする島「久寿理島」で470年、女子直系の一族だった木葉家に跡取りとして生まれた男子・草多。

草多は島で作られている「気休め丸」を万人に効く薬に改良するため、東京の高校へ。島での暮らしぶりとまったく違う生活を送る中、母がくれた「竜骨」の力により、問題解決にいとむ。

## 『カンヴァスの向こう側 少女が見た素顔の画家たち』

フィン・セッテホルム 作 梶谷 玲子 訳  
評論社

絵をかくことが大好きな12才の少女リディア。公園で鳥に鉛筆をとられてから不思議なことばかり起こり始める。

ある日美術館でレンブラントの絵にさわると、オランダのその時代にタイムスリップしてしまう。レンブラントはどんな人だったのか？そして、次に出会う画家は、だれなのだろう？



## 『わたしのウナギ研究』

海部 健三 著  
さ・え・ら書房



縄文時代から食べられてきたニホンウナギが今、減少し、絶滅危惧種になっています。

しかし、ウナギの生態系は、今まであまり知られていませんでした。ウナギを増やすために、ウナギの卵がある場所、生まれる場所などの研究が進められてきました。

謎に包まれたウナギの世界をのぞいてみませんか？

## 『負けられないパティシエガール』

ジョーン・パウアー 作 灰島 かり 訳  
小学館

ケーキを作るのが大好きなフォスターの夢はパティシエになること。6年生だが識字障がいで文字がまったく読めない。ママの彼と3人で暮らしていたが、ママが彼と別れる事になったのをきっかけに、キャンピングカーで暮らす事になってしまう。

悩むことはたくさんある。フォスターはどんなに苦しい時でもケーキを焼くことを忘れない。



## 『語りつぐ者』

パトリシア・ライリー・ギフ 作 もりうち すみこ 訳  
さ・え・ら書房



父親の仕事の都合で、おばの家に預けられたエリザベスは、自分そっくりな肖像画を見つける。どこか悲しそうな肖像画の少女の名前はズイー。独立戦争のころを生きた、ズイーのことが知りたい。

二百年の時をこえて、エリザベスは、ズイーの生きた足跡をたどるうちに、自分自身の持つ力に気づいてゆく。

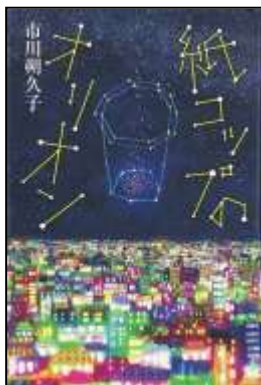
## 『紙コップのオリオン』

市川 朔久子 作  
講談社

中学2年の論里<sup>ろんり</sup>は、学校の創立記念行事の実行委員に思いがけず選ばれてしまった。まとまりのなかった委員会が、やがてキャンドルナイトに向けひとつになっていく。

母の家出、自分の出生の意味、人とのつながりをとおして成長していく論里。

冬の校庭に オリオンは輝くか…。



## 『シンデレラウミウシの彼女』

如月 かずさ 作 たうみ まゆ 画  
講談社



幼馴染<sup>おきななじみ</sup>のガクとマキは、バスケ部で同じクラス。二人は本当の兄弟のように育ってきた。二学期初日、マキが風邪で学校を休んだ。バスケ部の仲間が、二人の仲の良さについて話しているが、ガクはなぜか、違和感を覚える。すると、マキから「助けて」とメール。放課後、マキの家へ行き部屋へ入ると、長い髪の女の子が座っている。なんと それは、女の子になったマキだった。

## 『カントリー・ロード』

阪口 正博 作 網中 いづる 絵  
BL出版

自分には故郷<sup>ふるさと</sup>がない。佐藤浩紀<sup>ひろき</sup>は、幼い頃から引っ越しを繰り返してきた。今回は、人生初の田舎暮らし。小さな町の中学では、クラスメイトはたったの8名。所属できる部活動も限られている。野球には苦い思い出を持つ佐藤だったが、待っていたのは、「男子は全員野球部所属」という現実だった。

